

アルプス花街道通信

(平成 27.10 月 VOL.3)

市制施行 10 周年を迎え、安曇野市では様々なイベントが開催され、観光客の方も多くいらっしゃいました。今年度もマリーゴールドが、街道沿いに咲き誇り多くの方の目を楽しませることができたと思います。

11 月に入るとマリーゴールドが花を咲かせている時期も終わりとなります。今回の花街道通信では花の片づけについてお知らせします。

◎マリーゴールドの片づけについて

枯れてしまったマリーゴールドは抜き取らずに茎部分を切り取ってください。今の時期は、根にたくさん土がついており抜き取ってしまうと区画の土が減ってしまいます。根を十分腐らせるために来年の土づくりの際に根の抜き取りをお願いいたします。

切り取った部分については、よく乾燥させた上で、お手数でも細かく折って（40 cm 以下）「燃えるごみ」として出してください。

（咲き終わった花の処分は各団体でお願いします。どうしても処分できない場合は、事務局へご相談ください。）



◎マルチの片づけについて

定植の際にマルチを施した団体の皆様へのお願いです。

・ マルチ ・ マルチどめのピン ・ ポール

この3点は、土の流出を防ぐために、来年の土作りの時までそのままにしておいてください。冬の間、マルチが風などで舞い上がらないように土を被せるなどの配慮をお願いします。

◎区画の美化にご協力をお願いします。

花の片付けと併せて区画周辺の清掃と草とりをお願いします。

夏から秋にかけて、通りかかる人々の目を楽しませたマリーゴールドですが、花が枯れ、片づけが終了してしまうと地面に落ちている雑草やごみに目が向きがちになってしまいます。

来年度の作業まで、区画の様子を見に来ることも少なくなくなります。今年の最後の仕上げとして、担当する区画の清掃作業を行いましょう！

また、団体愛称名の看板につきましては、各区画の理事及び事務局が回収しますのでそのままお願いします。

※花の片付け作業は 11 月の末までに終了していただくようお願いします。

◎刈り取ったマリーゴールドの活用法について

・マリーゴールドの花弁をいかした染物作り

まだ、花が咲いているマリーゴールドも多いと思いますが、刈り取ったマリーゴールドから採集した花弁を使って染物を作ることができます。

作り方

- ①色づきをよくするため、染めたいものを牛乳又は豆乳で 15 分ほど浸し、取り出して乾かします。（牛乳・豆乳に含まれるたんぱく質を利用して着色しやすくします。）
- ②マリーゴールドを鍋に入れて、色素を煮だします。
- ③ ①で作った布を②で用意した鍋に入れ着色します。（煮汁は捨てないでください。）
- ④1ℓ当たりスプーン一杯のミョウバンを解かした水に、③を 15 分ほど浸します。
- ⑤ ④で作った汁に布を浸し15分ほど煮ます。
- ⑥布を煮汁から取り出して水洗いし、よく乾かします。



完成品です！

布の端っこを輪ゴムで縛ると模様をつけることもできます。

・畑に鋤きこんでセンチュウ予防

マリーゴールドは緑肥として利用することもできます。マリーゴールドにはある種のセンチュウを予防する効果があり、作物の定植、播種の1ヵ月前くらいに鋤きこむと効果が望めます。鋤きこむ際は、カッターなどで 10cm 程度の大きさに切り、堆肥として十分腐熟させたものを使いましょう。土壌中に均一になるように鋤きこむこともコツの一つです。

◎今後の計画とアンケートのお願いについて

来年2月～3月に、平成27年度のアルプス花街道実行委員会の総会を予定しております。来年度の活動に向けて、事務局と代表理事で計画を立てております。日程が決まり次第、改めて通知を送りますので、総会への出席と来年度活動への継続参加をよろしくお願いいたします。また、来年度事業計画の資料とするため同封した様式に記入の上、下記事務局までご報告ください。報告の際には同封の返信用封筒をご利用ください。

※報告は11月18日（水）までに行なってください。

◎活動報告書提出のお願い

10月分の活動実績報告書につきましては、11月6日（金）までに事務局までご提出ください。よろしくお願いいたします。

【アルプス花街道実行委員会事務局】 事務局長：若松 榮 事務局次長：米倉 秀政
（事務局補佐）安曇野市役所 豊科地域課 担当：吉野 電話：72-3111